

# 令和3年度 町長施政方針

幌加内町長 細川 雅弘



令和3年3月4日(木)に開会されました、第1回幌加内町議会定例会において、細川町長より施政方針が示されましたので、その要旨をご紹介します。

## はじめに

令和3年第1回議会定例会の開催に当たり、新年度の町政執行の所信と予算編成方針を申し上げ、町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

新型コロナウイルス感染が国内で発生し、北海道独自の緊急事態宣言から2月28日で一年を経過しましたが、いまだ収束が見えず、最大の効果が期待されるワクチン接種が国内において医療関係者を皮切りに、ようやく開始されたところであります。

この間、国や地方自治体を含め、未曾有の対策を講じ、財政負担はもちろん、経済活動にも大きな影を落としております。

このような中、政府は新年度予算を樹立し、税収が相当落ち込む見込みの中にあつて、地財計画において地方交付税は配分ペースで前年比5・1%の増となっておりませんが、令和3年度の交付から昨年実施した国勢調査人口が反映されるため、本町においては増額を見込めないものと推測しております。

## 予算概要

一般会計予算額は、45億5,471万8千円(前年対比2・4%の増)であり、特別会計を合わせた総予算額は、51億2,719万8千円(前年対比2・2%の増)となっております。

大きな要因としては、最終処分場に係る建設工事費関係で2億6千万円余りと、朱鞠内コミセンの改修事業費2億9千万円余りを計上したことによるものです。

予算編成にあたり、財源不足を補うため、財政調整基金をはじめとする基金の取り崩しを4億6千万円余りとしており、大変厳しい財政状況となりますが、町民の皆さんの安全・安心を確保しながら、本町の未来を見据えた前向きな施策にも取り組んでいく所存です。



## 総務課関係

### ■衆議院議員総選挙

今年には衆議院議員の任期満了の年であり、総選挙が執行されます。所定の予算と、令和3年度の選挙から本町の投票区・投票所の見直しを図るとともに、北部地区については期日前の移動投票等を実施していきます。詳しくは14・15ページをご覧ください。

### ■消防団関係

消防団員(概ね7名分)の自動車運転免許の取得補助を行います。



### ■防災関係

非常用備蓄品 発電機(2台)を購入します。また停電時でも避難所を使用可能にするために、発電機と施設をつなぐ、非常時切替開閉器の取り付け工事(母子里・添牛内・政和の各コミセン)を実施します。



※発電機はイメージです。

### ■総合行政システム費

備荒資金組合の対応となりませんが、マイナンバー関係の中間機器の購入及び今後のシステム強化に向けた機器の購入を予定しており、債務負担行為を新年度予算書に計上しております。









## ■教育全般

教育環境を取り巻く社会変化に加え、今後も過疎化の進行が予想されますが、教育・文化活動が衰退しないよう、本年度も「幌加内町教育行政大綱」のもと、教育課題の共有や教育条件の整備等重点的に講ずべき施策について進めていきます。

## ■学校教育

新たに策定した「学校教育推進計画」のもと、ふるさとに誇りと愛着をもち、心豊かでたくましく生きる児童・生徒を育成するため、特色ある教育活動を展開していきます。

小・中学校においては、令和2年度より準備を進めてきました朱鞠内小学校の山村留学の受付が本年4月より始まることとなりました。山村留学者の居住用住宅の整備や「朱鞠内小学校山村留学推進協議会」への補助金など、山村留学事業を進めるべく、所要の予算を計上しております。

高等学校については、令和2年度から取り組んでいる「高校生地域留学推進のための高校魅力化支援事業」において、道外より4名の地域留学生を受け入れることが決定しております。

り、明るく豊かな町づくりを進めるため、今後においても、生涯学習センターを本町の文化・学習活動の拠点として、学習機会の提供や学習環境の整備に取り組んでいきます。

スポーツ活動については、「町民皆スポーツ」を目標に誰もが身近にスポーツに親しむ事ができる生涯スポーツ社会の実現を目指し、地域のスポーツ環境整

また、ICT教育の充実や六次産業化への取組みなど、小規模校ならではのきめ細やかな指導や特色を活かした学校運営を実践するため、備品等の整備を行い、引き続き生徒募集の強化に向け、更なる魅力発信に努めていきます。

## ■社会教育

新たに策定した「社会教育中期計画」のもと、生涯教育の観点に立った社会教育の推進を図